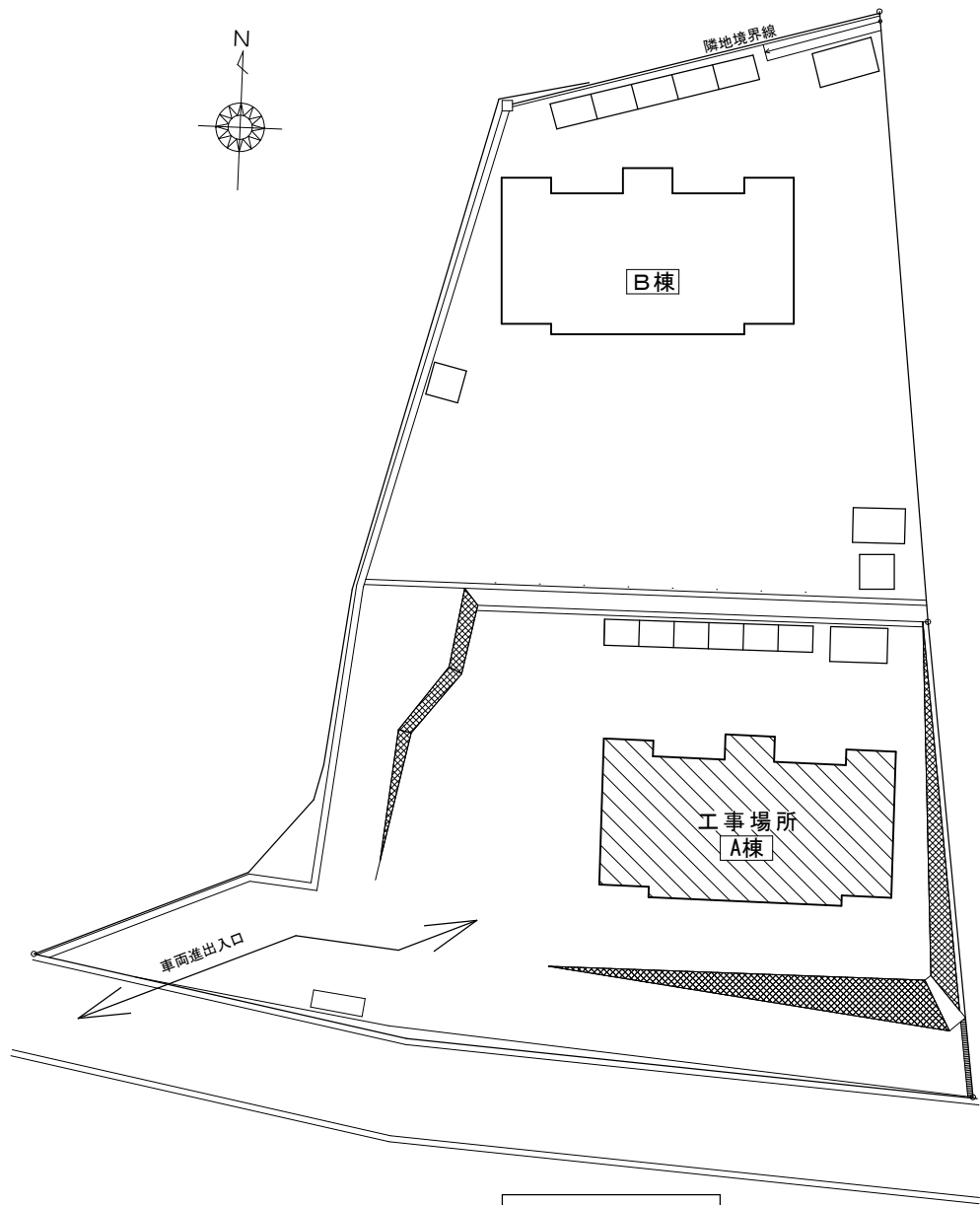


附近見取図



配置図

特記事項

(工事概要)

- ・鉄筋コンクリート造（P C造）3階建て
- ・外壁改修、塗装改修

(入居者等への配慮)

- ・当工事場所は市営住宅で入居者が生活しているため、入居者に対する安全対策、プライバシー、騒音及び塗料の飛散等において十分注意するとともに、玄関ドア塗装等の工事における入室及び各工程については、管理人及び入居者と十分に打合せをし、事前にお知らせ文を配布する等、苦情のないよう連絡を行うこと。また、必要と思われる仮設は、請負者の負担により行うこと。
- ・本工事に伴う騒音・振動・臭い等により、周辺住民から苦情があった場合は、工事を一時中断し、誠意を持って地元調整を行うこと。また、工事の再開については、市監督員の承諾を得てから行うこと。
- ・入居者の所有物（エアコン室外機、洗濯機等）については、事前に入居者へ確認の上、移動し、当該工事が完了後に復旧すること。移動が出来ないものについては、養生すること。なお、破損させた場合は、請負業者の負担で交換及び復旧すること。
- ・当該工事場所は、入居者が居住しながらの工事となる為、工事車両の通行等に細心の注意を払うこと。
- ・大型車両及び揚重機等の出入りの際には、交通誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全確保に配慮すること。
- ・工事車両構内進入ルート、材料置場については、当課と協議の上、決定すること。
- ・工事車両及び工事関係車両は、周辺道路及び敷地内通路に駐車しないこと。なお、敷地内通路の通行止めを行う際には、事前に監督員に報告し、入居者へ周知を行うこと。また、工事車両の駐車場所について、市監督員と協議とする。
- ・近隣に対し騒音・振動・粉塵等を配慮した施工を行うこと。また、作業により入居者の協力を必要とすることは、周知文を作成の上1週間前までに共用部掲示板への掲示及びポスティングにより周知することとする。

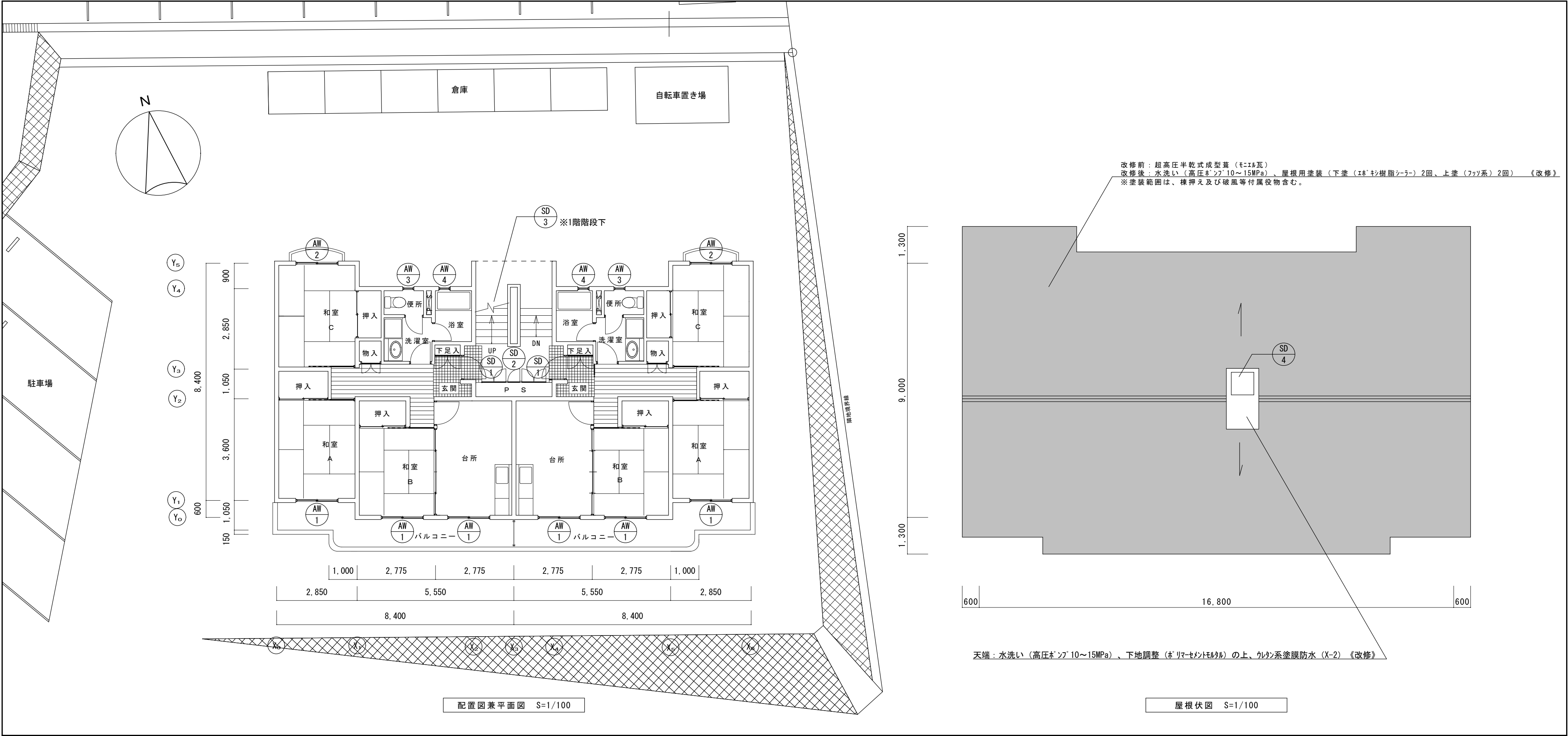
(施工条件)

- ・作業着手までの現地調査は、事前に監督員へ報告すること。
- ・本工事に必要な諸手続（道路占用許可、中部電力、N T T等）及びそれに係る費用は、本工事に含むものとする。
- ・工事に必要な電力及び用水は、請負業者負担とする。
- ・工事に際して、作業の支障となる既設物は、一時取外しの上で復旧すること。また、支障となる架空線は養生を行うこと。
- ・当該工事以外のところに破損箇所等があれば、現状把握のために、市監督員の立会のもと写真等に記録しておくこと。また、工事過程において、既存建物及び付属物に損害等を与えた場合は、請負者の負担により速やかに復旧するとともに、市監督員に報告すること。
- ・外部足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」（平成21年4月 厚生労働省）により、設置については同ガイドラインに基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、または改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するものとする。
- ・足場外周部には、ガードフェンスを設置し、進入防止対策を施すとともに、共用階段については、通行に支障のないよう配慮した仮設計画とすること。
- ・毎日の作業終了時には、工事対象建築物の内外を清掃し、念入りな後片付けを行い、工事区域の整理整頓に努めること。
- ・工事における施工計画書、材料使用願い、各種関係書類等（調査報告書等）は、その部分の工事に着手するまでに、監督員の承諾を受けること。
- ・設計図書に明記がなくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるものは本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とする。
- ・工事期間中に、受水槽の清掃業務を行うため、作業日程を市監督員と調整し、協力すること。
- ・足場解体前に市検査員による中間検査（書類を含む）を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。
- ・受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を市監督員に提出することとし、また法令に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見えやすい場所に掲げること。なお、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。
- ・工事着手に先立ち、石綿含有建材の仕様について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、市監督員に報告すること。
- ・当工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。また、工事完了後、速やかにマニフェスト等の写し（A,B2,D票）を市監督員に提示すること。
- ・土曜日、日曜日、祝日の施工は休工とすること。ただし、やむを得ない場合は監督員と協議を行い、休日施工の是非の決定を行うものとする。
- ・特にシーリング打替や樋取替の際には養生等を行い、入居者の生活に支障のないよう作業を行うこと。

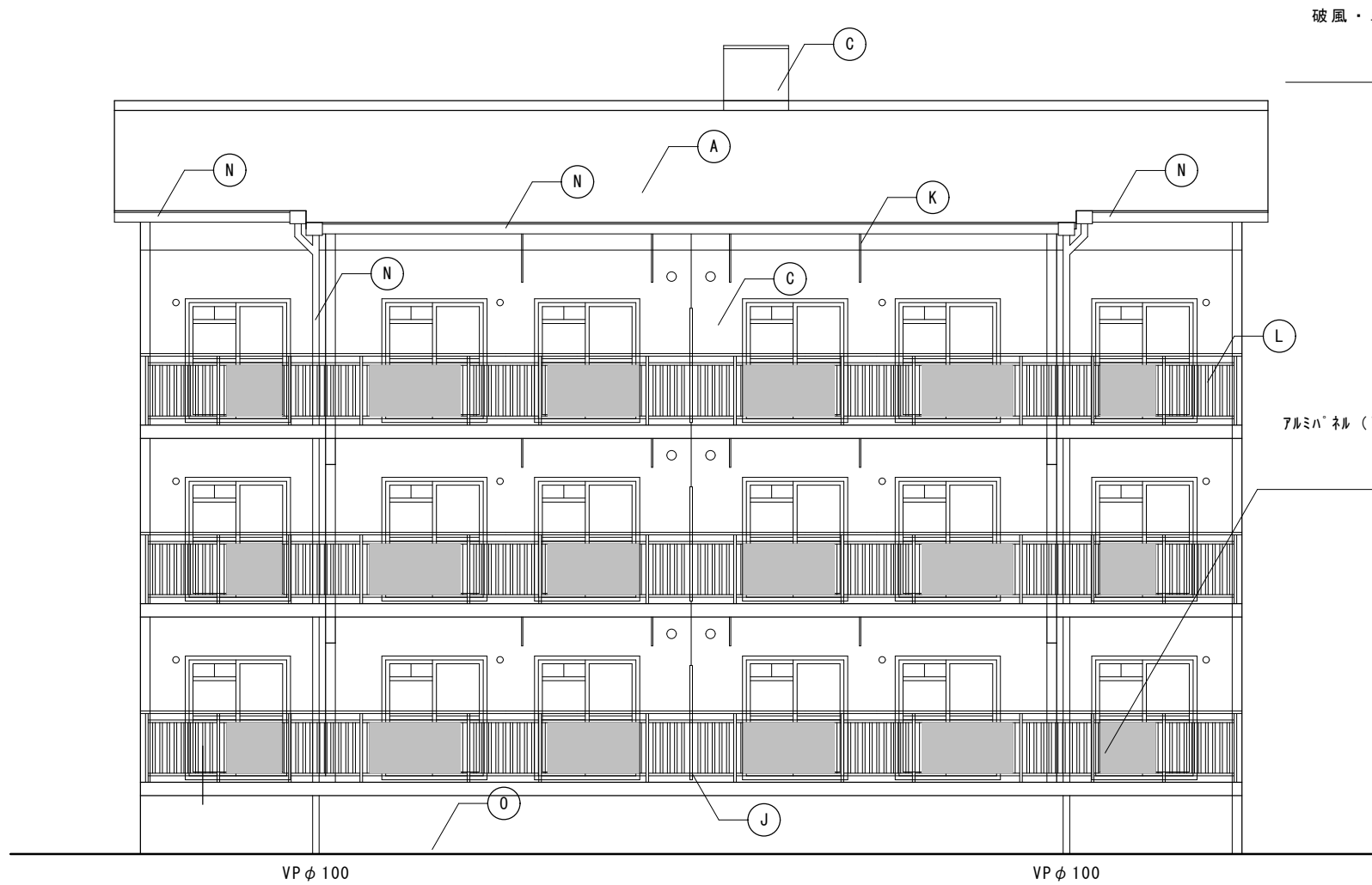
(適用基準)

- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編(令和4年版)
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編(令和4年版)
- ・その他関係法令

津市市営美里第1住宅A棟外壁その他改修工事		縮尺
図面名称	附近見取図・特記事項・配置図	原図：A2
津市建設部市営住宅課		No. 1/4



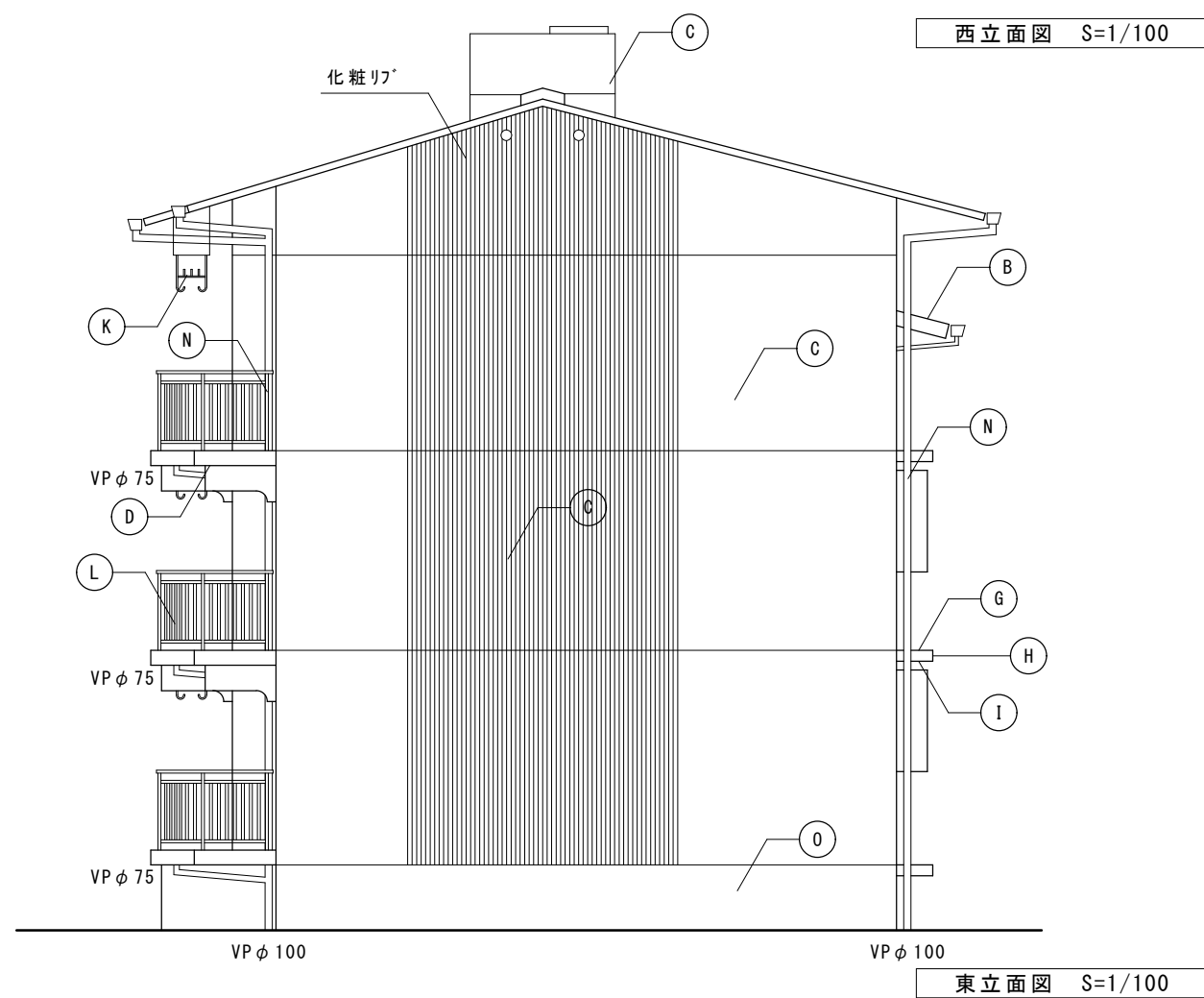
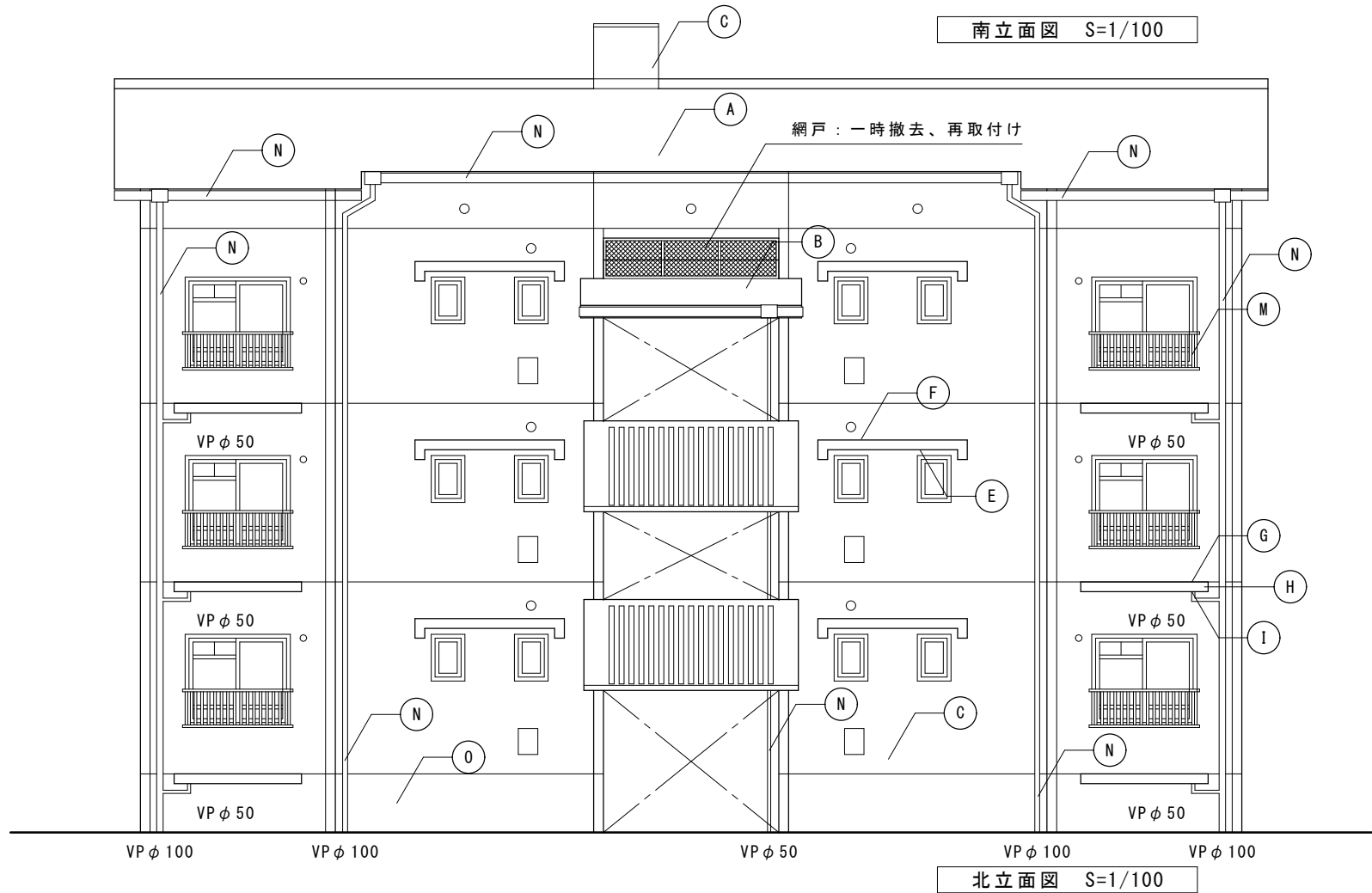
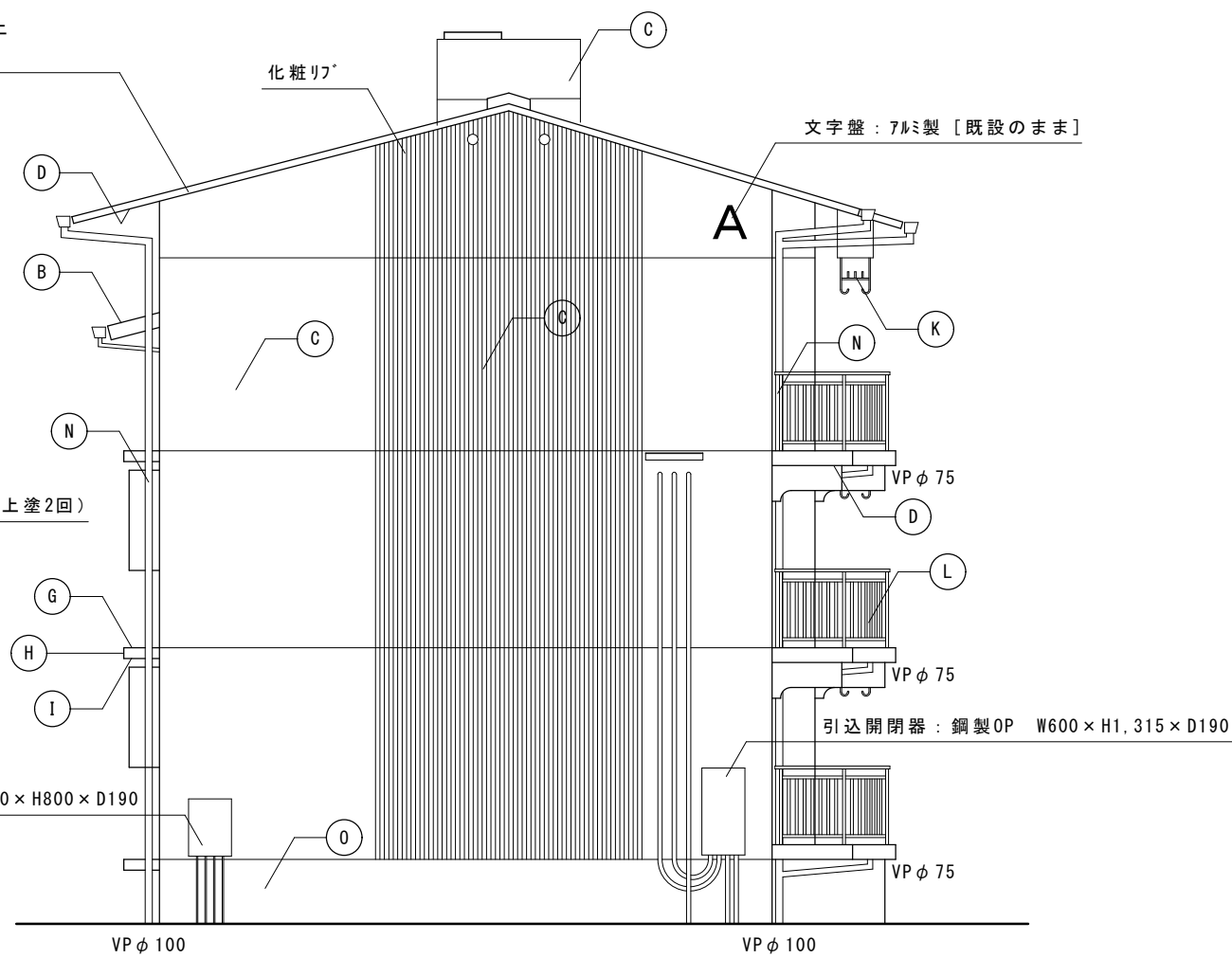
建具表 S=1/50																													
記号		<div>SD 1</div>	SD-1 : 6か所		記号	<div>SD 2</div>	SD-2 : 3か所		記号	<div>SD 3</div>	SD-3 : 1か所		記号	<div>SD 4</div>	SD-4 : 1か所		記号	<div>AW 1</div>	AW-1 : 18か所		記号	<div>AW 3</div>	AW-3 : 6か所						
<div>※改修</div> <div></div> <div>▼FL</div> <div>SD-1</div>					<div>※改修</div> <div></div> <div>▼FL</div>					<div>※改修</div> <div></div>					<div>※改修</div> <div></div>					W × H		W1,500×H1,785 (PC先付)		W × H		W400×H600 (PC先付)			
																				記号		<div>AW 2</div>	AW-2 : 6か所		記号		<div>AW 4</div>	AW-4 : 6か所	
																				W × H		W1,500×H1,300 (PC先付)		W × H		W400×H600 (PC先付)			
																				《備考》 ※塗装部は特記なき限り、鉄部：錆止工程B種塗料E種めっき部：錆止塗料B種とし、塗装範囲は枠を含む。				《建具（片面）塗装範囲》 原則として、枠塗装範囲は下図のとおりとし、扉塗装範囲は見込み部を含む。 枠塗装範囲（召し合わせまで） 外部 枠塗装範囲（召し合わせまで）					
																				凡例 <div>⊗</div> ・・・建具種別 <div>⊗</div> ・・・建具番号 AW：7&M製窓 SD：スチール製扉				津市市営美里第1住宅A棟外壁その他改修工事					
仕上		改修前：特殊溶融亜鉛めっき鋼板t1.6防錆塗装SOP塗装 改修後：下地調整（RB種）の上、DP塗替（3級）（片面）			仕上		改修前：スチール製 SOP塗装 改修後：下地調整（RB種）の上、DP塗替（3級）（片面）			仕上		改修前：特殊溶融亜鉛めっき鋼板t1.6防錆塗装SOP塗装 改修後：下地調整（RB種）の上、DP塗替（3級）（両面）			図面名称		配置図兼平面図・屋根伏図・建具表				原図：A 2								
備考		後付			備考		後付			備考		床下点検口 後付			備考		天井点検口 PC先付			津市建設部市営住宅課		No. 2/4							



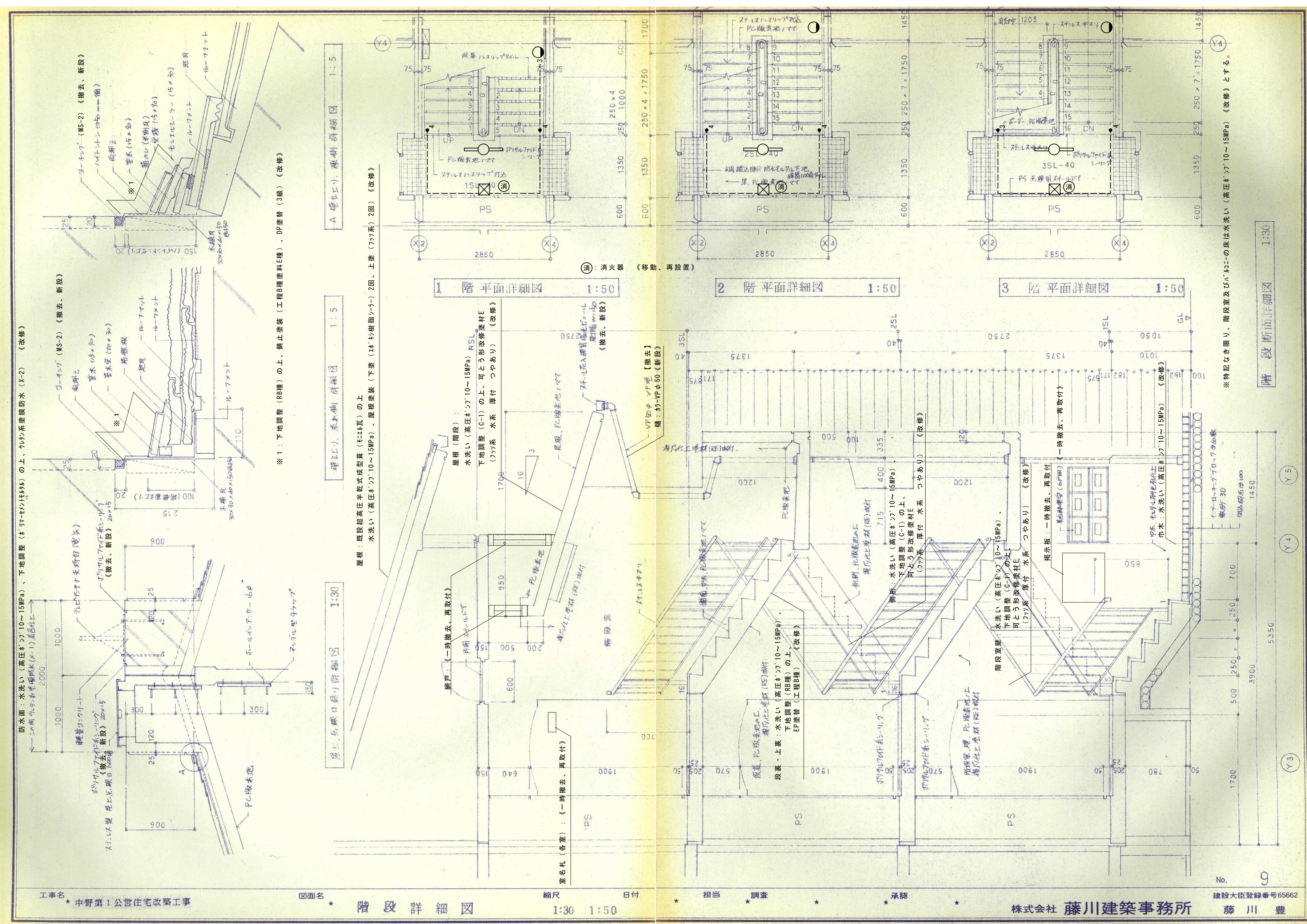
破風・鼻隠：（改修前）PC版素地 複層塗材RE
（改修後）水洗い（高圧ホッパ10～15MPa）、下地調整（RB種）の上
EP塗替（工程B種）《改修》

7&ミハミ（両面）：（改修前）塗装品
（改修後）下地調整（RB種）の上
DP塗装（3級）（下塗（変性エポキシ樹脂プライマー）1回、上塗2回）

浄化槽制御盤：ステンレス製 W600×H800×D190



外壁改修仕様									
部位	記号			部位	記号			◆外壁改修工事仕様 ※ひび割れ補修等は、施工数量調査を行い、市監督員による確認後施工すること。	
屋根	A	改修前	超高压半乾式成型葺（モミ瓦）	隔て板	J	改修前	7&ミ枠 石棉板t5 EP塗 〔既設のまま〕 避難表示ステッカー 【撤去】	＜施工数量調査＞	
		改修後	水洗い（高压ホッパ10～15MPa）、屋根用塗装（下塗（エポキシ樹脂シーラー）2回、上塗（フッ素系）2回） 《改修》			改修後	石棉板面：下地調整（RB種）の上 EP塗替（工程B種）《改修》 避難表示ステッカー 《新設》	・調査項目 クラック、剥がれ及び剥落部、浮き部	
屋根 （階段）	B	改修前	PC版素地	物干金物	K	改修前	7&ミ製	・調査方法 打診、目視及びクラックスケール等	
		改修後	水洗い（高压ホッパ10～15MPa）、下地調整（C-1）の上 可とう形改修塗材E（フッ素系 厚付 水系 つやあり） 《改修》			改修後	7&ミ製 〔既設のまま〕	・報告書 2部（補修方法別に調査数量を集計すること。）	
外壁	C	改修前	PC版素地の上 複層塗材RE	バルコニー手摺	L	改修前	7&ミ製	<外壁クラック補修仕様>	
		改修後	水洗い（高压ホッパ10～15MPa）、下地調整（C-1）の上 可とう形改修塗材E（フッ素系 厚付 水系 つやあり） 《改修》			改修後	7&ミ製 〔既設のまま〕	・ひび割れ補修（1mm超） Uカットシール充填工法の上ホリマーセメントモルタル充填	
上裏	D	改修前	PC版素地の上 複層塗材RE	腰窓手摺	M	改修前	7&ミ製	・ひび割れ補修（1mm以下） 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	
		改修後	水洗い（高压ホッパ10～15MPa）、下地調整（RB種）の上 EP塗替（工程B種） 《改修》			改修後	7&ミ製 〔既設のまま〕	・欠損部補修 エポキシ樹脂モルタル充填工法（防錆処理共）	
小庇 （上裏）	E	改修前	PC版素地の上 複層塗材RE	雨樋	N	改修前	軒樋：塩ビ前高W150【撤去】 壁樋：カラーVPφ100、φ75、φ50【撤去】 受け金物：SUS製【撤去】	・浮き部補修 一般部：注入口付アンカービーション部分エポキシ樹脂注入工法（9本/㎡ 25ml/穴）	
		改修後	水洗い（高压ホッパ10～15MPa）、下地調整（RB種）の上 EP塗替（工程B種） 《改修》			改修後	軒樋：塩ビ前高W150《新設》※1 壁樋：カラーVPφ100、φ75、φ50《新設》 受け金物：SUS製《新設》	見上部：注入口付アンカービーション部分エポキシ樹脂注入工法（16本/㎡ 25ml/穴）	
小庇 （上裏以外）	F	改修前	PC版素地の上 複層塗材RE	巾木	O	改修前	モルタル金コテ	細幅部：注入口付アンカービーション部分エポキシ樹脂注入工法（5本/㎡ 25ml/穴）	
		改修後	水洗い（高压ホッパ10～15MPa）、下地調整（C-1）の上 可とう形改修塗材E（フッ素系 厚付 水系 つやあり） 《改修》			改修後	水洗い（高压ホッパ10～15MPa） 《改修》		
室外機置場 （天端）	G	改修前	PC版素地	《参考》屋根用塗装 下塗：エスター強化シーラー 上塗：ヤネフレッシュ エスター化研株式会社 同等品				津市市営美里第1住宅A棟外壁その他改修工事	
		改修後	水洗い（高压ホッパ10～15MPa） 《改修》	【注記】・後付サッシ廻り及び目地、開口部（換気口等）のシーリングは撤去とし、再度シーリングを行うこと。（目地：PU-2,他：MS-2）					
室外機置場 （見付）	H	改修前	PC版素地の上 複層塗材RE	・外壁に取り付く設備配管、器具類は、養生を行った上で外壁改修を施工し、脱着はしないものとする。				図面名称	立面図
		改修後	水洗い（高压ホッパ10～15MPa）、下地調整（C-1）の上 可とう形改修塗材E（フッ素系 厚付 水系 つやあり） 《改修》	・特記なき限り外壁に面する鉄部は、下地調整（RB種）の上、錆止塗装（工程B種塗料E種）、DP塗替（3級）《改修》とする。					
室外機置場 （上裏）	I	改修前	PC版素地の上 複層塗材RE	・特記なき限り外壁に面する塩ビ管は、下地調整（RB種）の上、DP塗装（3級）《改修》とする。					
		改修後	水洗い（高压ホッパ10～15MPa）、下地調整（RB種）の上 EP塗替（工程B種） 《改修》	・※1 軒樋には落ち葉よけネット（樹脂製）共とし、受け金物の支持間隔は500mm内外（軒樋）、1000mm内外（壁樋）とする。					
								津 市 建 設 部 市 営 住 宅 課	
								No.	3/4



参考図

照明器具 (天井付) : 既設照明器具撤去の上、LSS9MP/RP-2-14LN 《撤去、新設》
照明器具 (壁付) : 既設照明器具撤去の上、LGW80421LEI同等品 《撤去、新設》
タテ 54174f (3W15A×1) 防水型 : 《撤去、新設》
タテ 54174f (4W15A×1) 防水型 : 《撤去、新設》

津市市営美里第1住宅A棟外壁その他改修工事		縮尺
図面名称	階段詳細図（参考図）	NS
		原図：A 2
		No. 4/4
津市建設部市営住宅課		